目が見えない・見えにくい人びとと共に

**音友通信**

８月号　第８号　2024（令和6）年８月１５日発行

発行　特定非営利活動法人 **音友**

〒553-0006　大阪市福島区吉野2丁目15－1

電話番号　０６－６６９０－８７２２

FAX番号　０６－６６９０－８７２３

携帯番号　 ０８０－３８５６－３０５８

メール　　 gh@onyu.jp

ホームページ　リニューアル中

表紙の写真　　支援技能の基本、実習研修

　支援技能の基本の実習を7月１５日、雑賀利幸先生をお迎えして行った。いつもは何でもなく実践していることも、気付きや反省点があるものです。写真は、模擬自販機で飲み物を買う実習。

目次

音友からのお知らせ /オンユーカレンダー 　　　　　 　２

スキルアップ　基本技能の実践的研修 報告 / イベント案内　３

こんにちは　入江　清美 事業所スタッフ　 / 編集後記 　4

　　　　　**音友からのお知らせ**

**新しいスタッフの紹介**

　新しいスタッフが音友に加わりました。ご紹介します。

名前は、石本恭仁子さん。Ⅰ種１級の視覚障害者で、いわゆる弱視です。快活、運動好き、お酒はまあまあ。

音友では、事務職担当。電話やメールで皆さんとお会いする機会が多い業務です。きっといい「仲間」になれると思います。

　　　愉快な人生を育もう！

実は、どこの事業所でも頭を痛めている問題があります。それは、噂話です。

少数だがどこにも、ひとのことをとやかく言い合う人たちがいます。そのことが、同行援護に関わる人たちを不愉快にしている実態があります。どうしたら、ひとのことをささやく悪い癖はなくなるのでしょうか。皆で知恵を出したいものです。

７月号のこのコーナーでは、「プライバシーを大切に」と題して噂話の非を喚起しました。しかし、その後も苦情が入り、再掲する事にしました。

　７月号における松本ちず子さんの言葉は、重い。

「利用者は、自分の家庭や生活をガイドさんにさらけ出す。全部を見せて、安心安全の外出目的を果たす。ガイドさんを信用しなければならない。」

　利用者の多くは、この言葉に同感でしょう。ガイドさんやスタッフは、自分をさらけ出してガイドさんを頼りにする利用者の気もちを理解し、噂話のネタにされないよう、しないように努めましょう。

ひとの事をあれこれささやき合うのは、ひとの常です。しかし、私たちは、同行援護のプロとして、ひとのことをささやくことは他人のプライバシーを侵すことなので禁じられています。利用者の皆さんも、どうぞご理解ください。

話題が誰彼の話になったら、社会人として、立場に拘わらず、うまくかわすくらいの知恵は備えておきたいものです。誰彼の話ではなく、楽しいおしゃべりで愉快な人生を育みましょう。

　　　　猛暑対策・エスカレータ事故

　猛暑対策、健康管理をしっかりやりましょう。そのうえで、利用者の体調の変化を見落とさないようにしましょう。

エスカレータの死亡事故が続いています。マフラーや裾がひらひらする上着とか、長い髪の毛の方は、注意が必要です。

危険を感じたら、エスカレータ出入口の緊急停止ボタンを押して停止することを躊躇しないで止めましょう。

**苦情の連絡先**

GH、利用者の皆さん、苦情は下記にご連絡ください。

川越利信（０９０-７１０３-９５８９）

または、事業所にメールや郵便等でご連絡ください。

オンユーカレンダー

８月12日（月・祝）12時30分～14時30分

　　三者研修会「演習　カラオケ支援」

会場　ビックエコー野田阪神駅前店

　　昼食は音友で用意します。

９月23日（月・祝）13時30分～15時30分

　　三者研修会―テーマ　演習、車椅子・手押し車

会場　福島区民センター　304号室

10月22日（火）13時30分～15時30分

　　三者研修会―テーマ　未定

会場　福島区民センター　305号室

**スキルアップ**

三者研修　基本技能の実践的研修　報告

 ７月１５日、実践的な三者研修が福島区民センターで行われました。概要を報告します。

写真：実践研修の状況

研修日　　7月１５日（月）

会場　　　福島区民エンター　３号室

講師　　　雑賀　利幸氏（さいが　としゆき　全盲）

　NPO法人　日本福祉学習センター　理事長

テーマ　　支援技能の基本　ショッピング・通院

　買い物

二人一組になり、模擬自販機で買い物。続いて、実際に色んな商品を並べて買い物の実践。ヘルパーが買ってあげるのではなく、利用者自身がヘルパーの助言に基づいて購入する形での実践研修。

一組ずつ、実践。講師と参加者全員で評価。

写真：模擬自販機で買い物実践

いつも行っている自販機での買い物。人によって気づかいに差があることが改めて分かる。たとえば、「スポーツドリンクだけがボトルで、後は缶」とか、「お茶だけが温かい」など、ひとによって情報格差がある。

自販機も食料品も、GHが代理で買うのでななく、利用者自らがGHが提供する情報に基づいて商品を選択する行為は、面倒だと思う人もあるかも知れないが、同行援護の基本です。６月号でチョコレート売り場の話をしました。ヘルパーも利用者も基本をつい忘れてしまった結果の出来事でした。

　慣れ切った日常の買い物だからこそ、豊富な情報が大事なんでしょう。目の代わりの役割が大切なんでしょう。

写真３：食料品を選択するGHと利用者

　「通院」

　通院の研修は、同行援護ではなく、居宅の「通院」を設定。薬の扱い方を主に実践。

　今回の研修で、情報（目の代わり）の重要性を改めて認識しました。、また、始終、笑い声があり賑やかで楽しい研修でした。

　　　　　　**イベント**

**カラオケ同好会**

８月の同好会は、音友の三者研修会「演習　カラオケ支援」に合流しましょう。

　三者研修会「演習　カラオケ支援」は、下記の要領で実施されます。

　昼食と飲み物は、音友で用意します。

日程　８月12日（月・祝）12時30分～14時30分

　　　　演習の後、16時30分まで会場を使えます。

会場　ビックエコー野田阪神駅前店

人数　10組20人

参加費　無料（全員）

申込　参加者は、事業所にご連絡ください。人数によっては２部屋確保します。

　　　０６－６６９０－８７２２　担当：石本

　９月のカラオケ同好会は、9月28日（土）の14時～17時です。場所はいつもの通り、ビックエコー野田阪神駅前店です。

　　　　　**こんにちは**

入江　清美　事業所スタッフ（サ責）

音友に入って早一年になります。

最初に驚いたことは、利用者やガイドヘルパーの皆さんが非常に活動的で、多くのことに興味を持ち、挑戦し続けている姿です。私も頑張らなければと奮い立たせてもらっています。

いつもヘルパーさんを頼って同行される利用者さん、安心安全を第一に考え、ガイドをしてくださるヘルパーさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

私は音友では、マッチングが主な業務で、サ責を務めています。ガイドヘルパーも、時々　担当しています。

マッチングでは、ご依頼に対して、たまにどうしても調整がつかず、お断りせざるを得ない時があります。そんな時、力不足と申し訳なさを感じます。まだまだ経験不足で頼りない部分も多いですが、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

　この暑さは何だ！叫びたいです。負けないように、頑張りましょう。◆石本さんの紹介と入江さんの「こんにちは」で、スタッフが目立つ号になりました。三者チームの一翼を担う要の日人達です。よろしく。◆研修は、理屈っぽいよりも、実践がいいですね。（川越）